

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 梓の郷	代表者	豊田喜久夫	法人・ 事業所 の特徴	「わたしらしく、いつまでも」の法人理念を在宅介護サービスの分野においても、より実践していきたいと考えている。さんぼみちは「わたしらしい人生をいつまでもわたしらしく堂々と生きる」をモットーに、今までの人生で培ってきた「持ち味」や「力」をさんぼみちでも発揮できる支援をしていく。 「また行きたくなる、誰でも気軽に来れる場所」という総合コンセプトのもと、介護を必要としている高齢者のみならず、子ども、障がい者、地域住民誰もが、“ごちゃませ”に集える場所を目指している。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護さんぼみち	管理者	小林俊介		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			ヒヤリハット報告の取組みは、改善点をすぐに計画に反映していき、さらに改善に留まらず研修会を計画するなど更なる取組みへ展開している点は評価できる。	職員全員が希望する研修に参加できるように計画を立て進める。重大な事故防止を予防するために、ケアの質の向上を目的にヒヤリハット件数を上げる。
B. 事業所のしつらえ・環境			イベントの企画等を色々と考え工夫をしてくれ、地域の人たちの集いを大切にしてくれている。皆が暮らしやすく過ごせるようこの施設の活用法をこれからも地域の方々と一緒に取り組んでいく必要がある。	「居心地がいい空間」とは個人差があるが、常に利用者や来訪者からの意見を反映させ、把握と改善を引き続き行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり			さんぼみちがとても地域に関心を持って存在していることを感じた。利用者も働く方々も「来て、帰る」だけではない、根差す場所になる希望が見える。	コミュニティスペースを利用される方々にも小規模多機能というものを認知する取り組みをすると同時に利用者も参加できるような企画も考案する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			さんぼみちがとても地域に関心を持って存在していることを感じた。利用者も働く方々も「来て、帰る」だけではない、根差す場所になる希望が見える。	新型コロナウイルス感染予防を徹底して、できる範囲で地域からのボランティアさんの受け入れをしていく。1人1人の暮らしを支えている地域資源の把握をひとつでも増やしながら、利用者が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしができる様取り組む。

E. 運営推進会議を活かした取組み			<p>地域での取り組みや困りごとに対して一緒に取り組んでいこうとする姿勢を感じる。地域の意見を取り入れる意味で周辺住民の意見を聞ける機会があれば良いのでは？</p>	<p>運営推進会議メンバー増員の検討をする。運営推進会議では事業所のことだけではなく地域での課題などにも話し合える時間を作る。</p>
F. 事業所の防災・災害対策			<p>事業所の防災訓練には地区の防災会の会長等の参加も有効かもしれない。梓の郷の施設も増えているので災害時における行動のすり合わせが必要だと思う。</p>	<p>事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報を共有する。避難訓練は地域の方の参加呼びかけをする。</p>